

今年、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、入学式を新入生、教職員と在校生代表1名の縮小した形で行う予定にしていたが、残念ながら感染の拡大が続いている現状を鑑み、皆さんの健康、安全確保を最優先に、中止を決断しました。新入生はじめ、ご家族や保護者の皆様には、記念すべき式典ではありますが、ご理解のほどお願いいたします。

直前に中止を決断しましたので、予定していた告辞、歓迎の辞、宣誓を下記に掲載します。

告 辞 (2020 入学式)

今年度は、理学療法学科43名、作業療法学科20名、臨床工学学科44名、義肢装具学科12名、救急救命学科41名、総数160名の入学を許可しました。

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。

皆さんの入学を心より歓迎いたします。

皆さんは、希望に燃え、明るい未来を夢見ていることと思います。その初心をいつまでも忘れないようにしてください。

さて、去年は平成から令和に改元され、ラグビーワールドカップでの日本のOne teamが活躍した年でした。一方で、大雨や台風による大規模な自然災害が起こり、世界的にも異常気象による山火事や大雨による災害などが頻発しています。現在も、新型コロナウイルス感染症が世界で猛威を振るっております。4年前に熊本地震を経験された皆さんも多いと思いますが、命の大切さ、家族や友人との絆、思いやり、感謝や助け合う心などいろいろ考えさせられていることでしょう。このような時期に、医療専門職に志される皆さんには、心に期するものがあると思います。いつまでもその初心を忘れないように勉学に励んでください。

本学では、皆さんの期待に十分お応えし、医療専門職に必要とされる実践的かつ専門的な能力を修得して頂くために、独自の特色ある専門教育カリキュラムを作成し、展開しているところです。

これまで開校以来、5051名の先輩方がこの学び舎で学び、現在国内外の医療・

保健・福祉・介護等の最前線で活躍され、多くの社会貢献を重ねられております。

皆さんも、本学の授業や実習を通して、真摯に努力を積み重ね、目標の国家資格を取得し、質の高い医療人として、大きく飛躍されることを期待しております。

ところで、これからの社会は、先端科学技術の飛躍的な高度化により、情報技術 IT (information technology) の第 3 次産業革命の時代から第 4 次産業革命へと発展してきています。大量のデータから新たな価値を生み出すデータサイエンスやビッグデータを活用した IoT (internet of things) などから創出される超スマート社会 (所謂 Society 5.0) です。人の知的能力を機械的に作り出す人工知能技術 AI (artificial intelligence) は、すでに医療系領域で活用され、AI による画像診断や病理診断、遠隔医療などの診療支援、Hal (hybrid assistive limbs) やワトソン君 (IBM) などの患者支援など、医療・保健・福祉・介護・生活支援や防災システムなどの領域で幅広く活用されてきています。

皆さんが、将来、基礎的読解力、数学的思考力や情報活用能力など、新しい社会で豊かに生きる力を修得した質の高い医療人に成長するよう期待します。

近未来の超スマート社会に少し触れましたが、皆さんは学生生活を大いに楽しんでほしいと思います。ただこれまでと違い、何事にも自主性と責任が求められます。また、楽しく学ぶためには、体力が必要です。心身ともに健康であること、規則正しい生活態度、リズムを身につけてください。社会人としての礼儀やマナー、コミュニケーション能力、高い倫理観など毎日の生活の中で培ってください。

そして、本学を巣立ち、立派な医療人として、誇りを持ち、大きな夢と情熱を持って活躍することを願っております。

結びに、カナダの内科医で、医学教育の基礎を築いたと言われているウイリアム・オスラー先生の「患者から学ぶ (医療人にとって最良の教師は、患者である)」の精神を忘れないように、と願って、私の告辞とします。

本日は、ご入学、誠におめでとうございます。

令和 2 年 4 月 4 日

熊本総合医療リハビリテーション学院長
須加原 一博

歓迎の辞

新入生のみなさん、入学おめでとうございます。
春の日差しが心地よい、このよき日に、皆さんと「仲間」になれたことを大変嬉しく思います。

さて、皆さんは今、期待と不安でいっぱいのことと思います。一年前、私は不安の方が大きかったことを覚えています。初めは分からないことが多く、また医学的な講義や実習についていけるかとても心配でした。

しかし、その不安は直ぐに解消します。

はじめは辛いと思ったこともありましたが、同じ「夢」を持った「仲間」と協力し、時には切磋琢磨することで、そして、同じ道を歩んでこられた先輩方のお陰で、乗り越えることができました。

こんな私も、先輩となりましたが、「仲間」として皆さんをサポートしますので、分からないことは何でも聞いてください。また、専任講師の多くは本学の卒業生、つまり大先輩です。実務経験も豊富で、熱意と愛情をもって接していただきます。学院長、副学院長をはじめ職員の皆さんも、様々な面で導いていただきます。

学びの環境は整っています。一緒に「夢」に向かって歩んでいきましょう。

最後に、皆さんがここに集うにあたって、保護者をはじめ多くの方の支えを受けていると思います。その方々への感謝を忘れず、2年後、3年後、そして4年後に、「夢」への更なる一步を踏み出せることを願って、歓迎の辞とします。

令和2年4月4日

熊本総合医療リハビリテーション学院 在校生代表
救急救命学科 2年 平野 光

宣 誓

本日、私たち新入生一同は伝統ある熊本総合医療リハビリテーション学院の一員になれたことをとても嬉しく思います。また、私たちの為にお忙しい中このような素晴らしい入学式を行って頂き、心より感謝申し上げます。

新しい環境で私たちは、専門的知識や技術を学び、さらに思いやりの心やコミュニケーション能力を身につけ、仲間と協力し社会に求められる人材を目指し成長していきます。しかし、時には壁にぶつかり立ち止まることもあると思います。その時には先輩方、先生方、保護者の皆様、どうか力をお貸し下さい。そして立派な医療人になり、恩返しできるように努力していきます。

今年は世界的に感染症が拡大し、自粛が続いています。このような事態に医療従事者として少しでも役に立てるようこれからの学院生活を実りあるものにするのを誓い、入学の言葉と致します。

令和2年4月4日

熊本総合医療リハビリテーション学院 入学生代表
作業療法学科 小篠愛奈